

令和元年 6 月 2 1 日

史跡等の指定等について

文化審議会（会長 ^{さとう まこと} 佐藤 信）は、6 月 2 1 日（金）に開催された同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、史跡名勝天然記念物の新指定 1 1 件、追加指定等 2 8 件、登録記念物の新登録 3 件、重要文化的景観の新選定 1 件について、文部科学大臣に答申しました。今回答申された史跡等の指定等の詳細については、別紙のとおりです。

この結果、官報告示の後に、史跡名勝天然記念物は 3, 2 8 0 件、登録記念物は 1 1 2 件、重要文化的景観は 6 5 件となる予定です。

＜担当＞ 文化庁文化財第二課

課 長	岡 本
課 長 補 佐	田 井
主任文化財調査官（史跡部門）	山 下（内線2880）
主任文化財調査官（名勝部門）	平 澤（内線2881）
文 化 財 調 査 官（天然記念物部門）	江 戸（内線2883）
主任文化財調査官（文化的景観部門）	下 間（内線3142）
主任文化財調査官（埋蔵文化財部門）	近 江（内線2875）
審 議 会 係 長	小 島（内線3160）
電話：03-5253-4111（代表）	

別 紙

史跡名勝天然記念物

(令和元年6月21日現在)

種 別	現在指定件数	今回答申件数			合計（現在指定件数と 答申件数との合計）
		新指定	解除	統合に よる減	
史 跡 (うち特別史跡)	1,823 (62)	8 (0)	0 (0)	0 (0)	1,831 (62)
名 勝 (うち特別名勝)	415 (36)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	418 (36)
天然記念物 (うち特別天然記念物)	1,030 (75)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1,031 (75)
合 計	3,268 (173)	12 (0)	0 (0)	0 (0)	3,280 (173)

(備考)

件数は、同一の物件につき、二つの種別に重複して指定が行われている場合（例えば、名勝及び天然記念物など）、それぞれの種別につき1件として数えたものです。

なお、重複指定物件を1件として数えた場合、

現在指定件数は、 3,154件

答申後合計件数は、 3,165件 です。

登録記念物

種 別	現在登録件数	今回答申件数		合計（現在登録件数と 答申件数との合計）
		新登録	抹 消	
遺跡関係	11	0	0	11
名勝地関係	93	3	1(※)	95
動物、植物及び 地質鉱物関係	6	0	0	6
合 計	110	3	1	112

（備考）

件数は、同一の物件につき、二つの種別に重複して登録が行われている場合（例えば、遺跡関係及び名勝地関係など）、それぞれの種別につき1件として数えたものです。

なお、重複登録物件を1件として数えた場合、

現在登録件数は、108件

答申後合計件数は、110件 です。

※今回、名勝として指定することについて答申された西山氏庭園（青龍庭）については、登録記念物として登録されており、指定と同時に登録が抹消される予定（文化財保護法第133条で準用する同法第59条第1項）。

重要文化的景観

種 別	現在選定件数	今回答申件数		合計（現在選定件数と 答申件数との合計）
		新選定	解 除	
重要文化的景観	64	1	0	65

「新指定・新登録・新選定」答申物件

《史跡名勝天然記念物の新指定》

【史跡】 8 件

1 ^{だてしやながわ いせきぐん}伊達氏梁川遺跡群 ^{だてし}【福島県伊達市】

^{こくじんりょうしゅ}奥州南部において国人領主から戦国大名へと発展を遂げた伊達氏の本拠地であり、
^{やかたあと}伊達氏館跡とそれを中心に展開する城下が良好な状態で保存されている。当時の領主居館と城下の在り方及びその変遷をたどることができる希有な遺跡。

（室町時代の領主居館と城下の在り方及びその変遷をたどることができる希有な遺跡）

2 ^{いわびつじょうあと}岩櫃城跡 ^{あがつまぐんひがしあがつままち}【群馬県吾妻郡東吾妻町】

武田氏、後北条氏、上杉氏という有力な戦国大名の攻防の舞台となった境目の城。城下町を取り込む規模が大きく複雑な縄張り、武田氏、真田氏の領国支配の在り方や東国の戦国時代史を考える上でも、極めて重要。

（武田氏、真田氏により経営された東国の戦国時代史を考える上でも極めて重要な城）

3 ^{しもうささくらあぶらだまきあと}下総佐倉油田牧跡 ^{かとりし}【千葉県香取市】

乗用馬等の養成のために江戸幕府が直轄で経営した佐倉七牧の一つである。佐倉七牧の中では最小の規模であるが、遺構が良好に保全され、牧の全容を把握することができ、
^{うまき}近世における馬牧の様相を知る上で貴重。

（江戸幕府が直轄で経営した佐倉七牧の一つで、近世における馬牧の様相を知る上で貴重な遺跡）

4 ^{すみふるさわ いせき}墨古沢遺跡 ^{いんばぐんしすいまち}【千葉県印旛郡酒々井町】

日本列島の後期旧石器時代前半期を特徴づける約3万4千年前の環状ブロック群で、日本最大級の規模。動物資源を目的に集まった人々が営み、狩猟具を含む活発な石器製作を行った集落遺跡で、石材分析から広域に及ぶ人々の移動や交流が明らかとなっている。当時の生業活動や集団関係を知る上で極めて重要。

（日本列島の後期旧石器時代を代表する環状ブロック群）

5 もとのき たざわいせきぐん 本ノ木・田沢遺跡群

もとのき いせき
本ノ木遺跡

たざわいせき
田沢遺跡

じんいせき
壬遺跡

なかうおぬまぐんつなんまち とおかまちし
【新潟県中魚沼郡津南町・十日町市】

縄文時代草創期の生活文化を示す遺跡群である。縄文時代の始まりを巡る論争の舞台となった本ノ木遺跡をはじめ、晩氷期の気候変動において新たに形成されつつある環境に、人類がどのように適応したのかをよく表す遺跡からなる。旧石器時代から縄文時代への変遷を知る上で重要。

（縄文時代草創期の生活文化を示す遺跡群）

6 すいけんていぼう わかやまし 水軒堤防【和歌山県和歌山市】

江戸時代後半頃、紀の川河口部南方に築かれた延長約1.5kmの防潮・防波堤防。石堤と土堤の二重構造からなる中堤防（高さ5.0m、幅27m以上）、その南側の土堤（南堤防）及び北側にある自然堤防（北堤防）からなる。近世の土木技術及び防災を知る上で貴重。

（江戸時代後期、紀の川河口部の南方に築かれた防潮・防波堤防）

7 わかすぎやましんしゃいくつ いせき あなんし 若杉山辰砂採掘遺跡【徳島県阿南市】

弥生時代後期から古墳時代前期にかけて朱の原料である辰砂しんしゃの採掘を行った遺跡。岩盤を打ち割り辰砂を採掘した採掘場と、採掘に伴い廃棄されたズリ場からなる。我が国古代において顔料として重用された朱の原料の採掘の在り方を示す遺跡として重要。

（弥生時代後期から古墳時代前期にかけて朱の原料である辰砂の採掘を行った遺跡）

8 しゅうでやまいせき みとよし 紫雲出山遺跡【香川県三豊市】

弥生時代中期の高地性集落の性格や同時代の社会の評価に多大な影響を与えた学史上著名な遺跡。その立地や出土遺物は、弥生時代中期の高地性集落の性格や瀬戸内海を介した広域交流の在り方を考える上で極めて重要。

（瀬戸内海を望む弥生時代中期の高地性集落）

【名勝】 2 件

1 ^{にしやまし ていえん}西山氏庭園 ^{せいりゅうてい}(青龍庭) ^{とよなか し}【大阪府豊中市】

鉄道沿線に開発された住宅地に昭和 15 年（1940）に造営された枯山水の住宅庭園。主庭の設計は作庭家の重森三玲で、^{しげもり み れい}枯滝石組、^{かれたきいしぐみ}枯流れがそれぞれ龍の頭、胴体を表す。近代になって鉄道沿線に開発された住宅地に残る庭園の事例として重要。

（鉄道沿線に開発された住宅地に昭和 15 年（1940）に造営された、枯山水の住宅庭園）

2 ^{まんのういけ}満濃池 ^{なかたどぐん}【香川県仲多度郡まんのう町】 ^{ちょう}

香川県西部を流れる^{かなくらがわ}金倉川の上流域に所在し、古代以来の巨大な堰堤の構築によって形成された広大なため池で、流域の地勢や遥かに遠望する山並みとともに優れた風致景觀を呈する。近世から近代を通じて広く親しまれてきた名所。

（古代以来の巨大な堰堤の構築によって形成された広大なため池の優れた風致景觀）

【天然記念物及び名勝の新指定】 1 件

1 ^{あおの やま}青野山 ^{かのあしぐん つ わ の ちょう}【島根県鹿足郡津和野町】

青野山火山群を代表する溶岩ドームで、日本列島におけるプレートの沈み込みとマグマ活動のプロセスを理解するために重要な岩石で構成されている。中世からは信仰の対象として、近世以降は絵図に描かれるなど景勝地でもある。

（青野山火山群のうち最大の溶岩ドームで、信仰の対象であり景勝地）

《登録記念物の新登録》

【名勝地関係】 3件

1 旧林氏庭園【愛知県一宮市】

江戸時代に美濃路の起宿の脇本陣であった林氏の邸宅に、昭和初期に造営された池泉庭園。大正2年（1913）に再建された主屋の奥に広がり、中心部分に園池を設ける。園内全体に飛石が打たれ、秋にはイロハモミジやドウダンツツジの紅葉が彩りを添える。

（江戸時代に美濃路の起宿の脇本陣であった林氏の邸宅に、昭和初期に造営された池泉庭園）

2 八束氏庭園【愛媛県松山市】

松山市中心部から約2km東にある持田地区に位置する住宅庭園。昭和11年（1936）に、茶室のある数寄屋風の主屋、待合等とともに造営された。表門から玄関に至る道に瓦を立てて埋め込んでおり、その意匠が特徴的である。

（昭和11年（1936）に、茶室のある数寄屋風の主屋とともに造営された住宅庭園）

3 平田氏庭園【大分県中津市】

耶馬溪の名勝指定や地域振興に尽力した平田吉胤の住宅に営まれた庭園で、耶馬溪の風致景観を巧みに取り込んで特徴ある眺望を演出するよう工夫された意義深い事例であり、時代を特徴づける造形をよく遺している。

（耶馬溪の風致景観を巧みに取り込んで特徴ある眺望を演出するよう工夫された庭園）

《重要文化的景観の新選定》

【重要文化的景観】 1 件

1 ^{な き じ ん そ ん い ま ど ま り}今帰仁村今泊^{やしきりん しゅうらくけいかん}のフクギ屋敷林と集落景観【^{くにがみぐんなきじんそん}沖縄県国頭郡今帰仁村】

^{もとぶ}沖縄島の本部半島に所在する。近世に、生活や農業の利便性を求め、^{な き じ ん ぐ す く}段丘上の今帰仁城跡周辺から、低地に囲まれ、イノーに面した微高地に移動したことを全体で示す集落景観である。特に、防風のためのフクギ屋敷林が^{はまほう ご}浜抱護、^{むらほう ご}村抱護と成す緑豊かな景観を特徴とする。

（沖縄島北部、段丘上のグスク周辺から海際に移動した集落とそのフクギ屋敷林の景観）

史跡等の指定等

《史跡の新指定》 8件

1 伊達氏梁川遺跡群【福島県伊達市】

伊達氏が天文元年（1532）頃まで本拠とした伊達氏館跡と城下からなる遺跡。阿武隈川あぶくまがわの支流である塩野川しおのがわと広瀬川ひろせがわによって形成された河岸段丘上に伊達氏館と考えられる方形単郭の居館跡と梁川八幡神社、輪王寺などの社寺跡や家臣団の館跡と考えられる方形区画が計画的に配置されている。昭和53年以降に開始される伊達氏館跡の発掘調査では、14世紀から18世紀にかけての遺構が検出され、中でも伊達植宗たねむねが陸奥国守護職に補任された頃には、主殿、会所、廊風の掘立柱建物などが整備されたことが確認された。また、15世紀末から16世紀初頭には、城下を含めた大規模な火災痕跡が認められた。

奥州南部において国人領主こくじんりょうしゅから戦国大名へと発展を遂げた伊達氏の本拠地であり、伊達氏館跡とそれを中心に展開する城下が良好な状態で保存されている。居館と城下は鎌倉時代から利用されてきた場所に形成され、主殿や会所、庭園といった室町幕府の御所の形式等を取り入れながら整備・拡充されている様子がうかがわれるなど、当時の領主居館と城下の在り方やその変遷をたどることができる希有な遺跡である。

2 岩櫃城跡【群馬県吾妻郡東吾妻町】

標高802mの岩櫃山中腹に築かれた戦国時代から江戸時代初期の城跡で、武田氏の時代は上杉氏の侵攻に備える前線基地として機能し、真田氏の時代は上杉、後北条、徳川といった巨大勢力に挟まれた真田氏の領国経営の拠点として機能した。

標高593mに立地する東西約140m、南北約35mの主郭を中心として、岩櫃山から東へ延びる4本の尾根上くるわに、広域的に曲輪を配置するなど、その規模は群馬県内の中世城館でも最大規模を誇る。また、南北約600mに及ぶ範囲を雛壇状に造成した城下町を高所に置き、それを二つの支城と巨大な堅堀たてぼりと土塁どるい、堀切ほりきりによって防御することや、城域全体に堅堀と曲輪こぐち、虎口を複雑に組み合わせるなど、高い防御性が認められる。その規模、縄張りともに他に例を見ない。保存状況も極めて良好であり、廃城時の様子をよく留めている。

武田氏、真田氏の領国、地域支配の在り方を知る上で重要であるだけでなく、東国の戦国時代史を考える上でも、極めて重要である。

3 ^{しもうささくらあぶらだまきあと}下総佐倉油田牧跡【^{かとりし}千葉県香取市】

乗用馬等の養成のために江戸幕府が直轄で経営した牧の一つである。江戸時代の房総半島には、北西部に小金牧が、北東部には佐倉牧、南部に嶺岡牧が整備され、さらに佐倉牧は七つに分けられ「佐倉七牧」と呼ばれていた。油田牧は佐倉七牧の北東端に位置している。東西約4.7 km、南北約4.6 km、面積は10.1 km²で、七牧のなかでは最も小さいが、外周を囲む野馬除土手や内部を仕切る勢子土手等の牧の遺構が良好に残存している。

野馬捕りは牧場最大の行事で、毎年1回、放牧した馬を野馬込に集め、幕府へ納める馬と農民や町民に払い下げる馬、繁殖のために牧へ返す馬を選別した。野馬込跡は野馬捕りの際に使用される土塁状施設で、その内部は北東側が馬を捕える「捕込」、南側が幕府に送る馬や払い下げる馬を一時的に溜めておく「溜込」、北西側が野に返す若い馬を入れる「払込」(分込)の三つの区画に分けられている。捕込は231 m²、溜込は173 m²、払込は140 m²の規模があり、近世の絵図と比較しても、ほとんど変わらない状況で良好に残されている。近世における牧場の様相を知る上で貴重な遺跡である。

4 ^{すみふるさわ いせき}墨古沢遺跡【^{いんばぐんし すいまち}千葉県印旛郡酒々井町】

日本列島の後期旧石器文化前半期を特徴づける約3万4千年前の環状ブロック群である。環状ブロック群は、石器製作跡であるブロックが多数集まり、大きく円を描いて分布することを定義とする大型集落の一形態で、ブロック周囲には焚き火跡とみられる炭化物集中部も分布している。墨古沢遺跡の環状ブロック群はおよそ南北70 m×東西60 mの範囲におよび、日本最大級の規模であることが判明した。石器組成は台形様石器、ナイフ形石器、^{さつき}削器、^{ちょうこくとうがた}彫刻刀形石器、^{くさびがた}楔形石器、^{せきすい}石錐、^{きよくぶま}局部磨製石斧調整剥片、^{だいいけいよう}敲石、^{たたいし}石核、^{せつかく}剥片などからなり、狩猟具を含む石器製作等の作業が行われたことを示す。使用石材は群馬県域のガラス質黒色安山岩が7割以上を占める。また、信州、^{こうづしま}神津島、^{たかはらやま}高原山産の黒曜石や、主に北関東からもたらされたと考えられる玉髓、トロトロ石、流紋岩などがあり、この遺跡を営んだ人々が広域を移動し、更に遠方の集団とも交流を行っていたことが分かる。遺跡周辺の古環境情報も豊富であり、人々が豊富な湧水に集まる動物資源を目的に集まって営んだ集落と推定される。墨古沢遺跡からは旧石器時代の人々の移動や交流、生業活動や集団関係について知ることができ、後期旧石器時代はじめの人類社会の在り方を知る上で重要である。

5 もとのき たざわいせきぐん 本ノ木・田沢遺跡群

もとのき いせき
本ノ木遺跡

たざわいせき
田沢遺跡

じんいせき
壬遺跡

なかうおぬまぐんつなんまち とおかまちし
【新潟県中魚沼郡津南町・十日町市】

しなのがわ きよつがわ
信濃川と清津川の合流点付近に位置する、縄文時代草創期の生活文化を示す遺跡群である。清津川左岸にある本ノ木遺跡は縄文時代の始まりを巡る論争の舞台となったことで知られる。段丘形成当初の自然堤防状の微高地において、1万5000年前を遡るころに1000点を超えるやりさきがたせんとうき槍先形尖頭器の製作が行われたA地点と、1万2700～1万2500年前以前に起こった信濃川対岸からの山体崩落の後に残された、押圧縄文土器おうあつじょうもん ど きと剥片石器はくへんせつきや磨製石斧ませいせきふに特徴づけられるB地点からなる。清津川をはさんだ対岸には、本ノ木遺跡と同様に河川の自然堤防上に田沢遺跡、壬遺跡が隣接して残された。田沢遺跡では隆起線文土器りゅうきせんもん、爪形文土器つめがたもん ど き、押圧縄文土器が主に出土し、壬遺跡では礫層直上から無文土器むもん ど きが、間層を挟んだその上層から隆起線文土器えんこうもん ど き、円孔文土器、爪形文土器等が出土しており、本ノ木遺跡における二つの時期の間を埋める資料が得られている。出土した石器群からは、旧石器時代以来の移動生活に適した石刃技法が衰退し有舌尖頭器等の各種尖頭器、そして石ごく鏃等といった縄文時代に通有の両面加工技術が変遷する過程を示し、立地の変化からは河川での漁労など新たに出現しつつある環境への適応が開始したことが分かる。晩氷期の気候変動によって新たに形成されつつある環境に、人類がどのように適応したのかをよく表す遺跡群であり、旧石器時代から縄文時代への変遷を知る上で極めて重要である。

6 すいけんていぼう わ か やまし 水軒堤防【和歌山県和歌山市】

江戸時代後半頃に築かれた、延長約1.5kmに及ぶ長大な防潮・防波堤防である。和歌山県北部を流れる紀の川河口部の南方、西浜の海岸沿いの砂州上に所在する。従来、17世紀前半に朝比奈段右衛門あさひなだんえもん（号水軒）が築造したとされていたが、平成16～21年度に和歌山県教育委員会・財団法人和歌山県文化財センターが発掘調査を行い、18世紀後半頃の築造であると判明した。堤防は、中堤防とその南側の南堤防みなみ（土堤）、北側の北堤防きた（自然堤防）からなる。中堤防は延長約960mで、断面台形の石堤とその背後の土堤、及び石堤前面の石敷部分いしじきからなり、堤防幅は基底部で27m以上、高さは約5.0mである。石堤の表おもて法面の石垣は、控えの長い和泉砂岩いずみさがんを用いた切石布積みきりいしぬのづであった。石堤と土堤の二重構造は、波浪による荷重に十分耐え得るためのものと考えられ、国内でも有数の

土木技術を駆使して築造されたものとして注目される。我が国近世の土木技術及び防災の有り様を理解する上で重要である。

7 若杉山辰砂採掘遺跡【徳島県阿南市】

徳島県南部を東流する那賀川の支流である若杉谷川の西側に広がる山腹斜面に形成された、弥生時代後期から古墳時代前期にかけて、朱の原料である辰砂の採掘を行った遺跡。

地表面には石灰岩やチャートの岩盤が多く露頭しており、岩盤中には部分的に辰砂結晶を含む石英脈がみられる。辰砂の採掘はこうした石英脈を狙って岩盤そのものを打ち割ることで行われており、採掘場所として石灰岩を割り取る露天掘りによるものと、チャート岩盤を横穴状に掘り進めるものの2か所が確認されている。採掘場所を中心とする広範囲において辰砂の採掘に伴い打ち割られ廃棄されたとみられるズリ場が広がっている。

岩盤の打ち割りだけでなく、石杵・石臼を用いた荒割りや潰しといった加工が一部行われている。石杵には香川県東部で産出する火成岩であるヒン岩製のものがあり、採掘道具として持ち込まれたものとみられる。出土土器には在地産の他に、鮎喰川下流域産や香東川下流域産のものがあり、それら地域の集団も辰砂の採掘に関わっていたとみられる。

弥生時代から古墳時代にかけて朱は銅鐸や土器、埋葬施設に塗布され、葬送儀礼で用いられる等重用されており、その原料である辰砂採掘の在り方を示す遺跡として重要である。

8 紫雲出山遺跡【香川県三豊市】

紫雲出山遺跡は、瀬戸内海に突き出た庄内半島の先端部の標高352mの紫雲出山山頂に位置する弥生時代中期の高地性集落である。遺跡は、周辺の島嶼でも最も標高が高いことから優れた眺望地点という立地にある。

昭和30年代の発掘調査により、弥生時代中期の高地性集落が軍事的・防御的性格を帯びた集落遺跡と評価する契機となった学史上著名な遺跡である。今回の調査で、出土土器に、香川県西部のもののほか、愛媛県、岡山県南部、広島県東部からの搬入土器の存在が確認された。また、石器の出土量が集落規模に比して多い傾向があるだけでなく、石器石材に他地域産のものも含むことから、本遺跡で使用する石器のほか、他集落との交易目的の石器も保有している可能性が示され、瀬戸内海の広域交流で重要な役割を担った集落の可能性が指摘されている。

弥生時代中期の高地性集落の性格や同時代の社会の評価に多大な影響を与えた学史上著名な遺跡であるだけでなく、その立地や出土遺物は、弥生時代中期の高地性集落の性格や

瀬戸内海を介した広域交流の在り方を考える上で極めて重要である。

《名勝の新指定》 2件

1 ^{にしやま し て い えん}西山氏庭園（^{せいりゅうてい}青龍庭）^{とよなか し}【大阪府豊中市】 ^{おかまち}

阪急電鉄宝塚線岡町駅西側の岡町住宅地に所在する。西山氏は大正元年（1912）に岡町住宅地内の建物付きの土地を購入し、大阪市内から転居した。昭和15年（1940）から庭園の改造、離れ及び洋館の改修、渡廊下の建築を行い、庭園は^{しげもり み れい}重森三玲が設計を、^{かわさき じゅんいちろう}川崎 順一郎が施工を担当した。

青龍庭と名付けられた主庭は^{かれさんすい}枯山水庭園で、離れ座敷の対角線上に^{かれたきいしぐみ}枯滝石組を配置し、そこから^{かれなが}白川砂によって表現された枯流れが離れ座敷東側の茶室前まで続く。枯流れには^{さわとびいし}沢飛石、^{ふないし}舟石を据えているほか、2か所に自然石の橋を架け、中流部右岸には^{じしやうじ}慈照寺（銀閣寺）庭園の^{こうげつだい}向月台を模して砂を盛る。枯滝石組、枯流れはそれぞれ竜の頭と胴体を、盛砂は竜が掴む玉を表している。

施主である西山氏は、庭園及び建築の設計者、庭園の施工者らと完成まで密にやり取りを重ね、現在の空間構成はその成果をよく伝えている。

西山氏庭園は、近代の郊外住宅地に造営された庭園を代表するものであり、日本の造園史における学術上の価値、芸術上及び観賞上の価値は高い。

2 ^{まんのういけ}満濃池【^{なかつとぐん}香川県仲多度郡^{ちやう}まんのう町】

香川県西部の^{まるがめ}丸亀平野を北西に向かって流れる^{かなくらがわ}金倉川の上流域に所在する。大宝年間（701～704）に讃岐国^{さぬきのくにのかみみちもり あそん}守道守朝臣が築堤してため池としたのを始めと伝え、その後、^{こうにん}度重なる破堤と修築を繰り返してきた。なかでも、弘仁12年（821）の^{こうぼうだい し ぐわい}弘法大師空海による再築の事跡は、満濃池を広く知らしめてきた。近代における3次にわたる嵩上げ工事によって、現在、灌漑用ため池としては日本国内最大規模である。満濃池の風致景観は、築堤を基点として、南東側に向かって広がる水面と讃岐山脈への眺望並びに下流側の放水施設等から構成される。築堤はアーチ形式の土堰堤で、総高約32m、延長約156m、天端幅約20mを測る。池岸の形状は地質を反映して、北岸では緩やかな曲線形状であるのに対して、南岸では複雑に入り組んだ峡谷を深く刻んで対照を成している。ため池には築堤近傍に護摩壇岩、余水吐と取水塔があり、広大な水面の遥か先になだらかな丘陵地、その更に奥に讃岐山脈の山容を望む。築堤下流側では、余水吐放水工と樋門が固有の風致

景観を引き立てている。こうした満濃池の観賞は、『金毘羅山名勝図会』（文化年間（1804～18））に「山水勝地風色の名池」などがあるほか、近代においては取水塔を含む風景が親しまれてきた。築堤から展望する風致景観が優秀で、古来著名な名所として重要であることから名勝に指定し保護を図る。

《天然記念物及び名勝の新指定》 1件

1 あおのやま 青野山【かのあしぐんつわのちょう 島根県鹿足郡津和野町】

よし かちょう 島根県鹿足郡津和野町・吉賀町，やまぐちし 山口県山口市・しゅうなんし 周南市にかけて北北東—南南西方向に長さ約50km区間にわたって、青野山火山群と呼ばれる20を超える単成火山が分布する。このうち、青野山は、同火山群のうち最大の溶岩ドームである。青野山の岩石は、形成間もない熱い海洋プレートが大陸プレートの下に沈み込んだ際に、部分熔融で生じたマグマがそのまま地表に達したものと解釈されており、日本列島におけるプレートの沈み込みとマグマ活動のプロセスを理解するために重要な岩石である。青野山の地形をみると、標高500mから800mにかけては急峻で、頂部付近は平坦になる。山体表層部にはろくごうくず「麓耕崩れ」などの崩壊地形が見られる。

また青野山は、「津和野七社」の一つに含まれていることから、遅くとも16世紀の中頃には信仰の対象になっていたと考えられる。その後、近世以降は『日本勝地 山水奇観』や幕末の様子を描いた『津和野百景圖』などの絵図に描かれ、景勝地としての価値も有する。

《特別史跡の追加指定》 4件

1 ふじわらきゅうせき 藤原宮跡【かしはらし 奈良県橿原市】

じとう 持統天皇8年（694）から和銅3年（710）まで営まれた古代の都城跡。藤原京跡の中心部に位置し、約1km四方の区画内に内裏・大極殿、役所群が建てられた。北端部や南東部等で条件の整った部分を追加指定する。

2 さいのおはいじ 斎尾廃寺跡【とうはくぐんこうらちやう 鳥取県東伯郡琴浦町】

山陰地方で白鳳時代の法隆寺式伽藍配置を持つ唯一の寺院跡。大山山麓の台地上に位置する。中門、金堂、塔、講堂などの基壇が残り、特に塔の基壇は高さ1.1mを誇る。南

北 250 m, 東西 160 m の寺院地の条件の整った部分を追加指定する。

3 おおのじょうし 大野城跡【だざいふし 福岡県太宰府市・かすやぐんうみまち 糟屋郡宇美町・おおのじょうし 大野城市】

大宰府の背後にある標高 410 m の大城山（四王寺山）に、唐や新羅の侵攻が考えられる中で、百済から来た官人の指揮で天智天皇 4（665）年に築造された古代山城。大城山の頂部の稜線に総延長約 8 km の土塁や石垣を築いており、その内部に約 70 棟の倉庫が見つかっている。大城山裾に所在する山岳寺院である原山はらやまのうち、条件の整った部分を追加指定する。

4 くまもとじょうし 熊本城跡【くまもと 熊本県熊本市】

天正 16 年（1588）入城の加藤かとうきよまさ清正が築城した平山城で、加藤氏改易後は細川氏の居城。本丸、二ノ丸があり、宇土櫓をはじめ、多くの建物が現存する。上に上がる程そり上がる高石垣も特徴。武家屋敷のあった千葉城ちばじょう地区を追加指定する。

《特別天然記念物の追加指定》 1 件

1 のっぽろげんしりん 野幌原始林【きたひろしまし 北海道北広島市】

開拓によって消失した石狩平野の自然において遺存する唯一の原生的な針広混交林である。追加指定地は、過去に伐採履歴があるものの、その後の回復が良好であり、原生的な森林の拡大・回復において極めて重要な森林である。

《史跡の追加指定及び名称変更》 2 件

1 あわへんろみち 阿波遍路道【いたのぐんいたのちょう 徳島県板野郡板野町・あなんし 阿南市・かつうらぐんかつうらちょう 勝浦郡勝浦町・みょうさいぐんかみやまちょう 名西郡神山町・こまつしまし 小松島市・みよしし 三好市】

だいにち じ けいだい
大日寺境内

じ ぞう じ けいだい
地藏寺境内

しょうさん じみち
焼山寺道

いちのみやみち
一宮道

おんざん じみち
恩山寺道

たつえ じみち
立江寺道

かくりんじみち
鶴林寺道

かくりんじけいだい
鶴林寺境内

たいりゅうじみち
太龍寺道

みち
かも道

たいりゅうじけいだい
太龍寺境内

みち
いわや道

びょうどうじみち
平等寺道

うんべんじみち
雲辺寺道

だいにちじけいだい　じぞうじけいだい
(大日寺境内・地藏寺境内を加える)

阿波国（徳島県域）に所在する四国八十八箇所霊場をめぐる遍路道。これまでに延長約 16 km の遍路道及び札所寺院 2 箇所が指定されている。今回、第四番札所の大日寺境内、第五番札所の地藏寺境内を追加指定する。

2 伊予遍路道【愛媛県南宇和郡愛南町・宇和島市・西予市・西条市・四国中央市】

かんじざいじみち
観自在寺道

いなりじんじゃけいだいおよ　りゅうこうじけいだい
稲荷神社境内及び龍光寺境内

ぶつもくじみち
仏木寺道

めいせきじけいだい
明石寺境内

だいほうじみち
大寶寺道

よこみねじみち
横峰寺道

よこみねじけいだい
横峰寺境内

さんかくじおくのいんみち
三角寺奥之院道

めいせきじけいだい　だいほうじみち
(明石寺境内・大寶寺道を加える)

伊予国（愛媛県）に所在する四国八十八箇所霊場をめぐる遍路道。今回、第四十三番札所の明石寺境内と、明石寺境内から第四十四番札所大寶寺境内に向かう大寶寺道の一部を追加指定する。

《史跡の追加指定》 17 件

1 キウス周堤墓群【北海道千歳市】

縄文時代後期に造られた集団墓。地面を円形に掘りくぼめ、その土を周囲に環状に積み

上げて構築した周堤の内部に、複数の土墳墓を設けた北海道に特有の墓制。極めて大型の周堤墓が集中した全体的にも規模の大きい周堤墓群で、世界史的にも狩猟採集民が築いた構造物としては最大級である。今回、条件の整った部分を追加指定する。

2 しんぶくじかいづか 真福寺貝塚【埼玉県さいたま市】

北西部の低湿地に向けて開口部を有する東西160m、南北180mの半円形の盛土遺構を持つ、縄文時代後晩期の集落遺跡であり、北東部には地点貝塚が分布する。今回、条件の整った部分を追加指定する。

3 だいりづか こふん 内裏塚古墳【千葉県富津市】

5世紀中葉に築造された、墳長144m、後円部径80m、前方部幅90m、周濠を含めた全長185mをなす南関東最大の前方後円墳。後円部には2基の竪穴式石室があり、鉄製武器や農工具が出土している。周濠の一部を追加指定する。

4 かつさかいせき 勝坂遺跡【神奈川県相模原市】

相模川支流の段丘上に位置する縄文時代中期の拠点集落で、中部から関東の中期土器編年の標式資料を出土した遺跡である。段丘下の低地部分を含め、発掘調査で遺構や遺物の広がりが確認された部分を追加指定する。

5 みのこくぶんじあと 美濃国分寺跡【岐阜県大垣市】

美濃国府跡の東約2kmに位置する。東西231m、南北250m以上の伽藍を持ち、金堂跡、塔跡、講堂跡などが良好に残る。南門から続く参道の一部などが見つかった部分を追加指定する。

6 なかせんどう 中山道【ちいさがたぐんながわまち 長野県小県郡長和町・きそぐんなぎそまち 木曽郡南木曽町・なかつがわし 岐阜県中津川市・かにぐんみたちょう 可児郡御嵩町・みずなみし 瑞浪市】

江戸日本橋から下諏訪宿などを通り近江国草津宿で東海道に合流する、五街道の一つ。これまで、和田峠越、よがわ 与川道、まごめ 馬籠峠越などが指定されている。今回、石畳や一里塚などが良好に残る瑞浪市域のおおくて 大湫宿付近とほそくて 細久手宿付近を追加指定する。

7 ^{ほうじょう していあと えんじょうじあと い ず くにし} 北条氏邸跡（円成寺跡）【静岡県伊豆の国市】

平安時代末から鎌倉時代にかけて北条氏の邸宅が営まれ、北条氏の滅亡後にはその邸宅跡が北条氏の菩提を弔う寺院として継承された変遷をたどることができる貴重な遺跡。今回、条件の整った部分を追加指定する。

8 ^{おう み おおつのみやにしこおり い せき おおつ し} 近江大津宮錦織遺跡【滋賀県大津市】

天智天皇6年（667）、中大兄皇子（天智天皇）が飛鳥より遷都した宮跡。大海人皇子と大友皇子との間に起こった壬申の乱（672）によって廃絶した。発掘調査によって、内裏南門・正殿等の中核遺構が見つかり、今回、内裏の一角を追加指定する。

9 ^{へい あんきゆうせき きょう と し} 平安宮跡【京都府京都市】

^{だい り あと}
内裏跡

^{ちやうどういんあと}
朝堂院跡

^{ぶ らくいんあと}
豊楽院跡

延暦13年（794）、桓武天皇が長岡京に替わる都城として造営した平安京の宮殿跡。天皇の居所である内裏跡，政務が執り行われた朝堂院跡，国家的饗宴が催された豊楽院跡からなる。今回、豊楽院の^{ぶ らくでんあと}豊楽殿跡及び^{せいしやうどうあと}清暑堂跡の一部を追加指定する。

10 ^{ふた ご づか こ ふん みなみかわちぐんたいしちやう} 二子塚古墳【大阪府南河内郡太子町】

7世紀後半に築造された双方墳。墳丘は、長69m、幅35mの長方形の下段の墳丘上に一辺20m以上の方形墳丘が二基並列で築造され、古墳時代終末期の墓制を考える上で重要。今回、墳丘と旧地形整形部を追加指定する。

11 ^{ふじわらきやうあと かしはら し} 藤原京跡【奈良県橿原市】

^{す ざく おおじあと}
朱雀大路跡

^{さきやうしちじやういち に ぼ う あと}
左京七条一・二坊跡

^{う きやうしちじやういち ぼ う あと}
右京七条一坊跡

持統天皇8年（694）から和銅3年（710）まで営まれた古代の都城跡。中心にある藤原宮跡は特別史跡となっている。朱雀大路跡は宮の正門である朱雀門から南へ延びる道路跡で、それを境に西側を右京，東側を左京に区分する。今回、条件の整った部分を追加指定する。

12 しま やまこふん 島の山古墳【しき ぐんかわにしちよう 奈良県磯城郡川西町】

古墳時代前期末に奈良盆地中央部に築造された墳長約200mの大型前方後円墳。両くびれ部に造り出しを備える。前方部の埋葬施設である粘土槨から計133点の石製腕飾類が出土し、奈良盆地の古墳時代前期の有力首長墳として重要。今回、条件の整った部分を追加指定する。

13 あす かきゆうせき 飛鳥宮跡【たかいちぐんあす か むら 奈良県高市郡明日香村】

7世紀代に歴代の天皇の宮殿が造営された宮跡。発掘調査の結果、飛鳥岡本宮（舒明天皇）、飛鳥板蓋宮（皇極天皇）、後飛鳥岡本宮（齐明天皇・天智天皇）、飛鳥浄御原宮（天武天皇・持統天皇）の各期の遺構が確認された。今回、条件の整った部分を追加指定する。

14 わか やまじょう 和歌山城【わか や まし 和歌山県和歌山市】

紀の川河口部に位置する、紀伊徳川家の居城となった平山城の近世城郭。とらふすやま 虎伏山に天守を設け、その東に本丸があり、これらの廻りに二の丸、西の丸、砂の丸、南の丸を配置し、高い石垣と内堀で画する。砂の丸の南に位置する扇の芝の一角を追加指定する。

15 つ やまじょうあと 津山城跡【つ や まし 岡山県津山市】

津山盆地の中央の鶴山に位置する、慶長9年（1604）に美作一国を与えられた森忠政により整備された平山城。本丸、二の丸、三の丸等からなり、南の吉井川、東の宮川を天然の濠とする。東北端と南端の条件の整った部分を追加指定する。

16 びん ご くにふ あと 備後国府跡【ふ ちゆう し 広島県府中市】

府中市街地における発掘調査で国府関連施設や山陽道駅路跡が検出されており、国府の構造が明らかになりつつある。国府域北西に位置する7世紀後半創建の伝吉田寺跡関連施設が検出された地点を追加指定する。

17 お ごおりかん が い せきぐん 小郡官衙遺跡群【お ごおり し 福岡県小郡市】

お ごおりかん が い せき 小郡官衙遺跡

かみいわ た い せき 上岩田遺跡

7世紀の役所跡である上岩田遺跡と、その2.1km西方に位置する、8世紀の役所跡で筑後国御原郡家に比定される小郡官衙遺跡からなる遺跡群である。小郡官衙遺跡におい

て条件の整った北西端部を追加指定する。

《史跡及び名勝の追加指定》 1 件

1 菅田庵【島根県松江市】

松江藩主松平治郷（不昧）（1751～1818）の設計により、家老有澤家の山荘に18世紀末に造営された茶庭。藩主の御成道として整備された「楓の馬場」等、既指定地周辺部を追加指定する。

《名勝の追加指定》 2 件

1 妙国寺庭園【宮崎県日向市】

江戸期に造られたと考えられる寺院庭園。地形を活かして露出した岩盤を取り込み、滝、園池を設ける。境内へと続く参道及び階段、階段北側の石垣、山門、水源の川等を含む部分を追加指定する。

2 アマミクヌムイ【沖縄県国頭郡今帰仁村・南城市・浦添市・那覇市・沖縄市】

琉球開闢神であるアマミクの伝説地。調査研究により特定された13か所11地域のうち、既指定の6か所5地域に、南城市の「玉城アマツト（玉城グスク）」及び沖縄市の「ごゑく（越来グスク）」の2か所2地域を追加指定する。

《天然記念物の追加指定》 1 件

1 有田のイチヨウ【佐賀県西松浦郡有田町】

推定樹齢1000年を超えと言われるイチヨウの雄木で、単幹のイチヨウとしては日本最大級の巨樹・老木としての高い価値を有している。大正15年に株のみが指定されており、今回、イチヨウの所在する土地を含む2筆を追加指定する。

登録記念物への登録

《登録記念物（名勝地関係）の新登録》 3件

1 きゅうはやし し ていえん 旧林氏庭園 いちのみやし 【愛知県一宮市】

江戸時代に美濃路の宿場町としてにぎわった一宮市 おこし 起地区に所在する。江戸時代に起宿の脇本陣職を務めた林氏の住宅は、明治24年（1891）の濃尾地震で倒壊し、大正初期に江戸時代の脇本陣の建物の間取りをほぼ踏襲して主屋が再建された。その後昭和初期に裏座敷が増築され、庭園も整備された。

ほぼ長方形の敷地は、東側で街道に面し、西側で木曾川の堤防に接する。敷地内東側に主屋が、主屋の北西に裏座敷が建つ。主庭は主屋の西側に位置し、中央部に流れと細長い園池を設ける。主屋から見ると、敷地は縦方向に長く、真ん中奥からの流れが右へ方向を変え、左右に広がる手前の園池へつながる。流れと園池の護岸は石で組まれ、随所に大ぶりの鮮やかな色合いの石を交ぜる。また、飛石の園路が園内をめぐり、大きめの景石、つくばい 蹲踞、石燈籠等が配されている。植栽は、マツ類、カエデ類等の高木のほか、ドウダンツツジ等の低木があり、秋には落葉樹の紅葉が来訪者の目を楽しませている。

旧美濃路の起宿脇本陣跡に昭和初期に造られ、近代の愛知県における造園文化の発展に寄与した意義深い事例である。

2 やつづか し ていえん 八束氏庭園 まつやまし 【愛媛県松山市】

松山市の中心部から東に約2km離れた持田町 もちだ に位置する。昭和11年（1936）に、当時、済美高等女学校の校長であった八束猶重 やつづかなおしげ がこの地に住宅と庭園を造営し、松山市中心部から居を移した。松山は江戸時代から茶の湯が盛んな地域で、八束氏庭園も猶重、ヤス夫妻が茶の湯を楽しむために造ったという。

八束氏住宅及び庭園の敷地は、主要部分がほぼ正方形で、北西に主屋、南西に主庭、東側に前庭という構成となっている。前庭は、東南角の表門から北側の玄関までの空間で、表門を入ると、右手方向に平瓦や丸瓦を立てて敷き詰めた道が20mほど続く。この高い意匠性を持つ道の先にはコンクリート製の橋が架かっており、玄関へ至る。主屋の南に広がる主庭には南の端に待合があり、主屋の座敷、茶室、待合等が飛石で結ばれている。また、庭園の各所に様々な風合いの景石が据えられている。植栽は、前庭はツツジ類が中心で、主庭はマツ類、ヒノキ等の針葉樹のほか、モッコク等の広葉樹を配している。

地域に息づく茶の湯の文化を基底とし、その意匠についても特徴のある庭園で、近代の愛媛県における造園文化の発展に寄与した意義深い事例である。

3 ^{ひら た し て い え ん}平田氏庭園【^{な か つ し}大分県中津市】

大分県北西部に位置し、北東に向かって流れる^{やまくにがわ}山国川の左岸域に所在する住宅庭園で、
耶馬溪の名勝指定や地域振興などに尽力した平田吉胤（^{よし た ね}1866～1937）の住宅として明治期に造営された2階建て主屋を大正期に3階を増築するに当たって整えられたものである。主屋の南東方に張り出す新座敷に南面する造園を主庭として、主屋西側に面する地割には茶室を備えた奥向きの庭を造作し、あわせて、表玄関の前庭と、主屋裏手に坪庭を設ける。3階広間からは、北方に平田城跡の景、東方に立留りの景、南方には山国川を手前に木ノ子岳の景に臨み、それぞれ縁を設けて優れた眺望を觀賞する造りとしている。主庭は、新座敷の縁先に飛び石を打って、南方に木ノ子岳の景、東方に立留りの景を正面に臨んで大振りの伏石を配置し、その間に園池と景石を設えて地割を整えている。奥向きの庭の北西隅には築山石組みに石祠を奉り、その手前には、主庭と同様に、主屋から飛び石を打つ中に大振りの伏石を据える。表玄関の前庭や主屋裏手の坪庭も含め、本庭園には、^{と ば る い し}戸原石と呼ばれるこの地方の安山岩石材が多用され、狭小な地割にあって大振りな石からなる山燈籠を数多く据えて固有な風致を構成しているほか、園池護岸の築造にセメントモルタルが用いられている点に大正時代造園の特徴を認めることができる。

重要文化的景観の選定

《重要文化的景観の新選定》 1 件

1 ^{な き じ ん そ ん い ま ど ま り}今帰仁村^{や し き り ん}今泊^{し ゅ う ら く け い か ん}のフクギ屋敷林と集落^{く に が み ぐ ん な き じ ん そ ん}景観【沖縄県国頭郡今帰仁村】

沖縄島北西部から東シナ海に突き出す本部半島の北側中央部に位置し、イノー（サンゴ礁の浅瀬）、海際の現集落、農地、段丘上の^{な き じ ん ぐ す く}今帰仁城跡及び旧集落跡（史跡、世界遺産）、山林からなる。近世の集落移動に際し、河川や湧水が流れ込む広い低地が近く、海産物が豊富なイノーに面し、地下水が得られる微高地が適地とされたこと、また、北風や台風の影響を避ける工夫が不可欠であったことを全体として伝える景観であり、中でも、風から屋敷を^{ほ う ご}抱護するフクギ屋敷林が、^{は ま ほ う ご}浜抱護や^{む ら ほ う ご}村抱護と共に緑豊かな住環境をつくり、際立った特徴をなす。低地に拡大された農地が隔てる旧集落跡と現集落は、集落立地の考え方が、城との関係性から生活や農業の利便性へと重点を移したことを示す。一方で、沖縄固有の自然崇拜に基づく祭祀や芸能は、集落移転後も継承され、クバの^{う た き}御嶽や城跡をはじめ、山から浜までの各拝所等で現在も行われている。こうした特徴や特性は、亜熱帯気候に属する島嶼群である沖縄県の集落の成り立ちを知る上で示唆に富み、かつ、地域的な慣習や信仰と景観との関わりを良好に伝えるものであり、我が国の生活及び生業の理解に欠くことのできない文化的景観として貴重である。